



特 別
^4
8101
2



和歌名所追考第二

淡守郡

櫻乃山

あひの山のりせ

万葉集 櫻乃山とていふ山ありて仲つとれ流の山とていふ山ありて

當麻真倉

名所 乃山とていふ山ありて仲つとれ流の山とていふ山ありて

行旅

小野

万葉集 小野にありて朝ふかむる流ありて蘇八坂書石とていふ山ありて

福

名所 小野にありて朝ふかむる流ありて蘇八坂書石とていふ山ありて

名所 小野にありて朝ふかむる流ありて蘇八坂書石とていふ山ありて

名所 小野にありて朝ふかむる流ありて蘇八坂書石とていふ山ありて

名所 小野にありて朝ふかむる流ありて蘇八坂書石とていふ山ありて

名所 小野にありて朝ふかむる流ありて蘇八坂書石とていふ山ありて

池

名所 池にありて朝ふかむる流ありて蘇八坂書石とていふ山ありて

名所



方也朝慈河を流るるひの河の権祖といふ
山あり其山のふもとに後之文ありまはしむ

盃川山

^名月々々ひの川山より流れて先も八幡塩倉乃屋 葛

追考長命記にげお後之文乃東の方しるし
朝慈村の^名枕方よりありなち花とらふて朝慈
河とのるれ川をひ乃田にれ少き流奉れ他文
ありしとて田地の字皆益川と稱あり其田乃
東に山はつれも益川山とて今も石此去氏にひ
かりの田より塩倉乃屋より^名栗方^名の近き也

塩倉渡

^名月々々ひの川山より流れて先も八幡塩倉乃屋 葛

^名二尺入る松吹風より流れて月乃氣なる塩倉此とて 御

^名二尺入る松吹風より流れて月乃氣なる塩倉此とて 御
けし長命記に云あけぬれ二尺入りなる人
塩的いふらん今八幡よりそのめんし鳥と
るやありしとて三とてよりありしとて
しといふやとてまてるはしこのやとて一
あひしとて事ハ東の流より八幡なる塩乃
ありしとてありしとて東の流より三と
也西ハ大流ありん也

追考今げ所通繩堤とて二尺入りなるの江川
也是れ平谷川に末也塩倉此とて川二つより
くれて二尺入るまてて東の流の末海より也
其東の流よりしるの流る塩けのありて行あり
塩のこちより流るはるもて塩のこちより流る

名物記

くろ判志内世の河ニ里れありし荒涼也といひ又
まうらひ牧の山野乃ほ茅生ふ木葉もあはれあはれま本田
き成言
け野も荒原の里ちりき程又野のいづれもあり
されといわれもふ念但古老のいふ荒原の里れ白
ま川れやうていふまの野やいづれや力得入るは
あ人昔の市も長きう思はれ今もいふ市牧小野
ありといふまかといふ野の荒れまの里つていふ也

長中里

長中里すま田は地れ入りて荒れりま田まま本田也ま本田
延行
月一時々冷れり也け所は終務師は在る外又
より肉交のま入り道小田橋まのありこの町也
すま田ハ地れ川内とも大入系ともいふ倚れり
下也今文庫れ建るて也けいふま長谷れ井とて

あり又大國王社も文庫れ近也又け田のゆゑ
天長田として序饗料れ神田ま本田あり則天上は長田
乃橋の程とていふ橋といふ也けいふて毎て六月
下旬清田れ神車ありまといふお軒乃盤名産
もありといふ也

瀧波山

長中里ハ外ハれ近れゆゑありまろ小田方麻れ声ま本田
成宗
瀧波の山といふまの麻のまの産是といふまの里
追考瀧波といふ長中乃辰巳の方と文書よりいふ
橋あり是といふまの橋といふも同く山ハれ
其橋れ巽の方と也大國王社人不知但大黒
乃といふといふありてゆる文庫まのまのまのまの也
まのれ橋れ神ハ文庫れまのまのまのまのまの也

あはさめをくくせんききするをいふくひとあは
つとくあはてするこころは二程のすくさく
こころのあはしと思ひてこころよふあつとこ

也

百鍊和子 あげぬらうあさこの也れ時のよま月れ後の影をみして

追考昔二尺古江としてありし山口と云里ハ絶て
今ハ古江也二尺の里ハ極く下は古江也古江也名
也ね二尺と名づけし子細ハ天照太神あや珍川
上下流は昔れ時二尺は浦あして昔々れハ宥
鴻ハ流一宥ありて羽立目又二尺をかりし人多し
故二尺といふと云はあり他世記ハ流は昔れ時
流一宥乃沙流あり前日倭姫命大若子命
下乃名と云ふ人々速雨乃二尺のあつとと答

ゆふ志れを御結座よりいふ乃名とゆふ
ころ又天照太神よりいふゆふハ金れとい
浦ありて又二尺をかりしゆふ故二尺といふ
こ一袋れ見とこ可也

御塩殿

名二尺 二尺ハ神宮ハ二尺塩殿幾く代もねね陰はて昔の
右二尺の浦へ出ゆく道ハ小松系れ中ハ多き
あり社ハ二尺と云ふと云ぬれハ神代ハ陰はて
めいてまつる工也名ハ流塩と云ふ人ハ

音無山

六帖 音無ハ山の下りけらああまをこころ思ふ心あり
赤集 音無ハ山よりいづる水きねやあはつあはし流り哉
千八百 音無ハ山郭といつよりいづるよ鳴とハ人ハ多し
信明 音無
歌姫

又ふの者云いふ人あり上人の住ありしあり
寺といふ旧跡あり其上に山を建てて四方に海
をめぐらして也家なきやといふは是れ
由やゆらん長崎のまきまき山よのありし時もあり
法師の住居なる東雲山といふあり人々歌
よみて歌ふにして大中臣親守あり法師を
なまひてのありしといふはいふは海うの
唐室ちりしといふは山ありし南を尋る可也

小野古江

伊勢の海の小野に古江に朽果て都に方おれとそよ
漆名古いふ夕波流伊勢の海の小野に古江に朽の初凡
いけろ名古小野の古江よふの塩に漆やとそよそけ夕暮
伊勢の海や小野の古江とそよと漆をかけてする月氣 此河

漆

伊勢の海の小野に漆に流江のかうれても人々の心と
いせ乃海に小野に漆のどつうと遠なる程に流のまよふか
おれ名古昔に末もそよの成りたる小野の漆に夕暮に比
伊勢の海のとて漆乃入江よあられ江をく鳴子も哉
漆名古後する小野の漆にねよそよ幾代久しといふは
塩むら小野に漆に流江は於漕にねてゆる伊せよ 此後
追考け所雲お川と三條にるよあるやよといふあ
やまう也一派大漆に押名古の旁よ在る今六條に古河
といふ也也けつらるる川の川うら也らるる塩や流
昔もあられは昔よりあり今に漆昔に古川の旁に
ありしと也今にの漆と古川の旁よ新川お川よと
今に漆よ人家ありしとわらと也け漆よ八段内

親王くみあまのまをておりしりし御後まも
ありしつひいふま海に追をまわれし漆といひ
かきし物交を定まてまりし定記の

小野乃江橋

名号 漆のむらさけいもむらさけや栲まらりとの之は栲漆の
右漆後の栲といふはあり是は栲漆月れいといふ
乃まらり此夜夢交は塩ありまらりては漆と漆
ありゆい名付る也中ハありし小野の江といふ
をの江は栲といふまらりしよりまらりし

三津浦

栲漆有同名又近江
伊勢よまかりたるまらりしとよまらりし海道ま
まらりしよりまらりし
山家集 漆を塩れしより船かたはは花をまらりしとよまらりし西行

漆 心あてれりし栲漆の漕あれて浪海たるとぬらりし浦人高

物交は漆のまらりしとよまらりし三津は漆れよまらりし浦凡
追考三津浦ハ二尺の江三津村の南也漆はれ在あり
那小松をいふ名本もあり漆も三津浦をいふ

漆繪松

金 玉うけに二尺の浦の具志けしまらりしとよまらりしとよまらりし
追考今漆繪の書として二尺の三津村と江村といふ
乃山あり松をいふ也一本は書とていふありあり
まらりし金まらりし歌よりいひわけてあまらりし名をいふあり
とら天載之の代の古道まらりし書る漆絵をいふ
一況江村乃江ハまらりしとよまらりしとよまらりしとよまらりし江
とらまらりしとよまらりしとよまらりしとよまらりしとよまらりし江

神倚山

名云

雄とや神倚山の色清て凡の事よあはれり不火長の
昔の伊勢紀之西の法所住持たりあ書山といふ
下ふ人く歌よき事ありし傳じ時海邊の
美とよふことよふありし

追考之流に松下村あり倭姫世記に所具あり

阿波羅羅氣鳩

神倚のむらひよちのさね傳くしありこれとあ
らけといふそのあまも生ぬん不ありけし
とあり是なり

名云 ありけれ傳ハセ傳その中けありしとて八傳ありたり昔の
追考多羽の前の伊勢村のふ伊氣の浦の沖といふ
傳といふ毎夜七月に伊勢孫宣板あり

伊氣浦

い追やてきまの比名書といふ鳥をれ是と伊氣の浦れといふ

名云

松下といけれ浦凡やるん伝よとよは傳の山案阿

追考松下村の東あり松下山の中人ありたり
江あり今ハ志戸領あり英虞郡といふれとも
和名に流會郡ありは傳山の伊氣浦れといふ
く也飛羽の東の方よあり歌傳あり

小湫

伊氣浦のつとこも羽より一里斗小湫幸記に裁所也

名云 古きく小湫の流り中ぬるる具打よする凡れ傳し

生

生ノ字斗も 標麻といふ昔とあり松といふ也

花

新部 ありてりむ款ハ志るとも 玉皇 秋凡そく

鏡子

新部 秋五来より 新部 生のこ

百五十一 標麻の松下よりあれを命といひけ毎ハ志るとも 今

四十二 標麻の松下よりあれを命といひけ毎ハ志るとも 今

伊勢のこゆるよまかりとありて

生於邊の海はみたりすんむらたふもあもれ禰ミの塩乃んか人丸
んらりそとわの海とふカハしあやうのをもあされ後信正
おの海は志のまれあ人のわらふ凡たふれかおや後求下大祥

湊

伊勢の海や生の湊より細のくけくま人とねてとる若原 奏徳

川

名々 夕六とやゆとふ志く文麻代おの川原より後しと後信正 大伴
鳴あさるゑさくわき 白若代生れ川凡さむくくよ衣立 内大伴

原

毛原おの原代んされ格好の心うとくてそり 長為原

山

檜麻のおのふりつかりもあまつうかても何りそらん

乱橋

追考二見の浦乃むうあや名家 志の間より人
合さう 大野麻禰とつうハ尾張三川原を飛鳥トヲ

伊勢へくうくうよおのく原代すき分ゆり
まよ格あり名とんれさうとん

竹篠間

おの海は志のまれあ海のわらふ凡のねれ禰れや後求

滝原

白原乃絶ちあさる海の原代れ禰て後代へおん 後求
海の原はあてれア花をれぬさあ後禰也さう 経信

宮

波くんる花代とつえれ志就海のまも若さうとむん 西行

あつちの川遊の里乃め月多よ入江七近くよなる舟人長

め月多れみよとてよ川遊の里の舟よと也
追考け所今川橋とよふとそ山田よりあひ
半里海遊よりいふ人を橋よりしよ舟よと
ぬしよと今川橋あり

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters '舟遊記' and '追考' visible at the top.]

